

表-2 使用細胞及び培地

使用細胞	MDCK (NBL-2) 細胞 JCRB 9029株	
細胞増殖培地	10 %牛胎仔血清加イーグルMEM培地「ニッスイ」①[日水製薬株式会社]	
細胞維持培地	イーグルMEM培地「ニッスイ」①	1000 mL
	10 %NaHCO ₃	14 mL
	L-グルタミン (30 g/L)	9.8 mL
	100×MEM用ビタミン液	30 mL
	10 %アルブミン	20 mL
	0.25 %トリプシン	20 mL

表-3 試験条件

試験ウイルス	<i>Influenza A virus</i> (H1N1) A/PR/8/34 ATCC VR-1469 (インフルエンザウイルス)	
ウイルス液	細胞培養後のウイルス培養液を遠心分離して得られた上澄み液を精製水で10倍希釈	
試料	検体(大きさ: 約3 cm×3 cm)の依頼者指定面にウイルス液0.2 mLを滴下	
光源の種類	白色蛍光ランプ, FL20SSW/18 18 W[パナソニック株式会社]	
保存条件	4時間(1700 Lx照射下, 室温)	
中和条件	細胞維持培地2 mLで洗い出し	
対照	ガラス板	
感染価測定方法	TCID ₅₀ 法	

以 上